

肺がん検診のすすめ

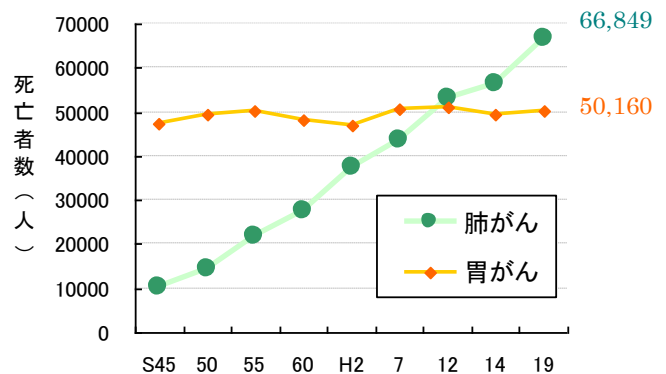
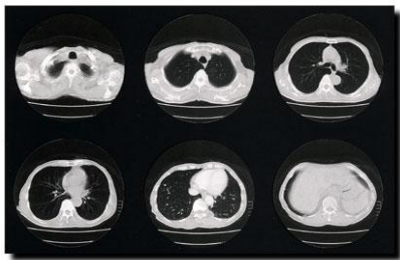
『CT検診』で肺がんの早期発見を

わが国では、がんによる死亡が増えており、3人に1人はがんで死亡しています。なかでも肺がんは、罹患率や死亡率が増加の一途をたどっており、1998年以降がん死亡のトップを占めております（図1参照）。

当協会では、早期肺がん発見による肺がん死亡数の減少のため、高精度のマルチCTを搭載した検診車を運行しています。

マルチCTとは

一方向からの撮影であるX線検査と比べマルチCTでは、肺全体を3ミリ厚の横断面・輪切りにした状態で撮影します。平面的なX線検査と異なり、情報を3次的に処理するので詳しく診断することが可能です。



【図1】肺がん・胃がん死亡者数の年次推移(全国)
(資料 厚生労働省「人口動態統計」)

従来のX線検査によるがん発見率 0.02%に対して、CTによるがん発見率は0.27%と10倍以上の高い発見率となっています。また、CTによる肺がん検診で発見されたがんのうち、90%が早期がんという高い比率でした。

(平成20年度の当協会データによる)

Q. 対象年齢は？ A. 40歳以上の方です。
(妊娠中又は妊娠の可能性のある方・肺疾患で医療機関を受診中の方・1週間以内にバリウム検査を受けた方は対象外となります)

Q. 所要時間は？ A. 4分程度です。

Q. 受診間隔は？ A. 喫煙者は、毎年受診が望ましいと思われます。

2010年にアメリカの国立がん研究所(NCI)より、CTによる年1回の肺スクリーニングで、ヘビースモーカーの肺がん死亡が約20%減少されるというデータが示されました。特に喫煙指数600以上の方は年1回の受診を強くお勧めします。

Q. レントゲンの被曝線量は？ A. 胃部X線間接検査並みです。

CTによる肺がん検診は新しい検診ですので、説明と同意(インフォームド・コンセント)を行います。受診の際には、同意書にご署名いただきますのでご了承ください。

お問い合わせは

石川県金沢市神野町東115番地
電話(076)249-7222
<http://www.yobouigaku.jp/>



一般財団法人 石川県予防医学協会

ISO9001認証取得・日本総合健診医学会優良総合健診施設
ISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム)認証取得